

デジタルミュージアム を考える

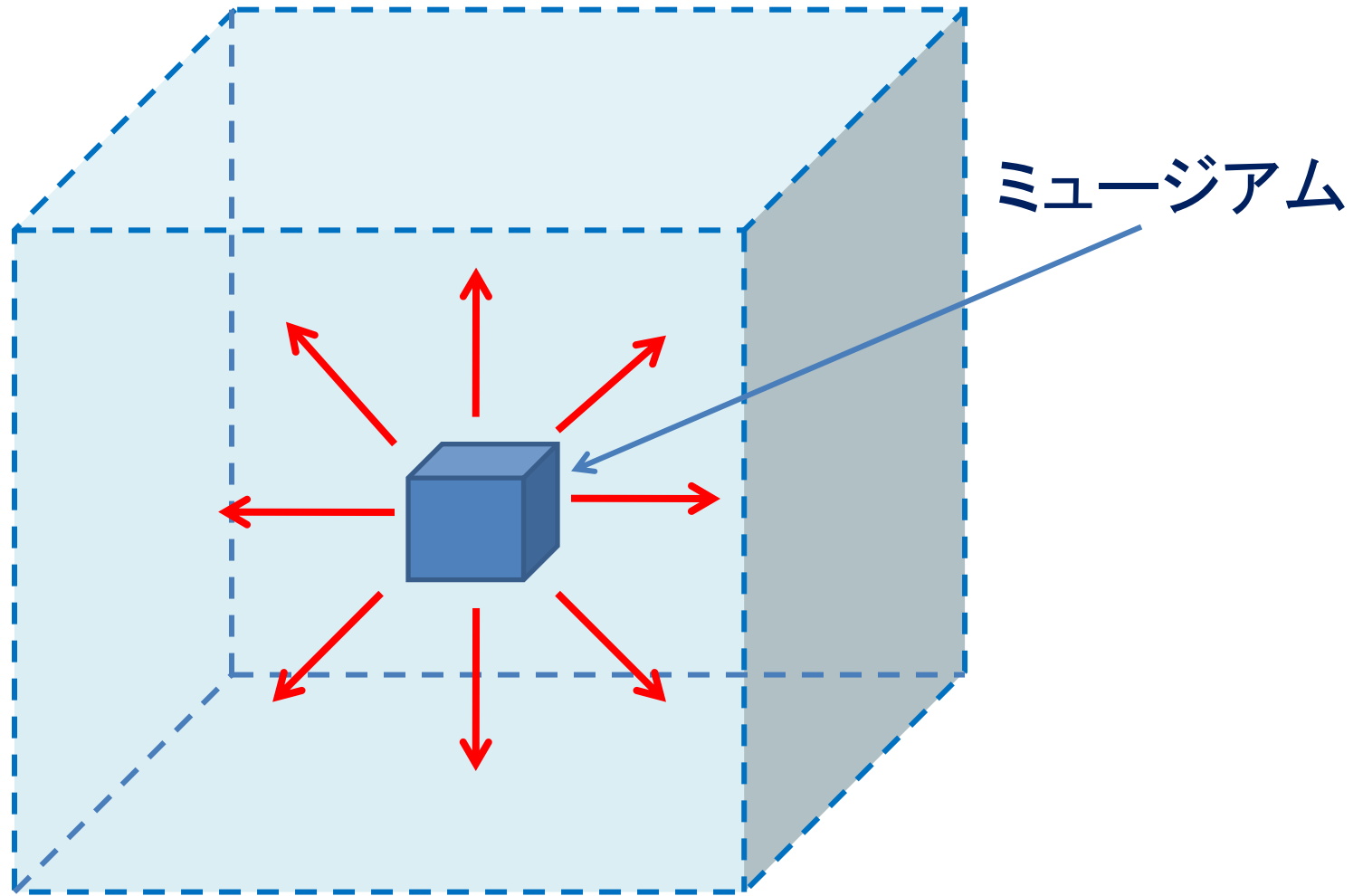
学術俯瞰講義

青柳 正規
駒場キャンパス

03.06.2010

ミュージアムとは

- 知りたい、復元したい過去の文化相、時代相の限定された、部分的な呈示と保存
- 時代、文化の実相と限定呈示の間には大きな格差がある
- この格差を埋めようとするのが、調査研究の動機
- 学びたい、知りたい、明らかにしたいという動機づけ



ミュージアム

ある時代や文化の実相

科学・学問・科学技術

- curiosity driven
 - 科学(理学・・・)
- genealogical restriction
 - 拘束された知 学問(人文学・・・)
- mission oriented
 - 設計科学 科学技術(工学、経済学・・・)

Digital Museum

- curiosity driven
 - 科学(理学・・・)
- genealogical restriction
 - 拘束された知 学問(人文学・・・)
- mission oriented
 - 設計科学 科学技術(工学、経済学・・・)

以上のミュージアムに関する合体・融合体

既存Museum と Digital Museum

補完関係

実物標本

映像・画像・
デジタル情報

希少・単一

コピーによる多数
化

完結

相関

固有の属性

付与された属性

⋮

⋮

既存Museum と Digital Museum

補完関係もしくは可能性

情報の深化

輪郭・framework

synchronic

static

モノ

情報の展延

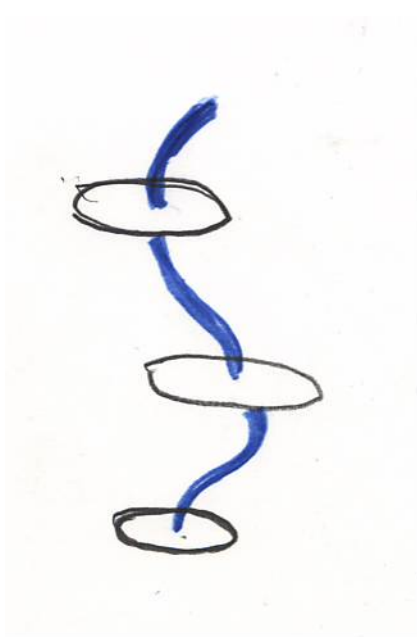
borderless

diachronic

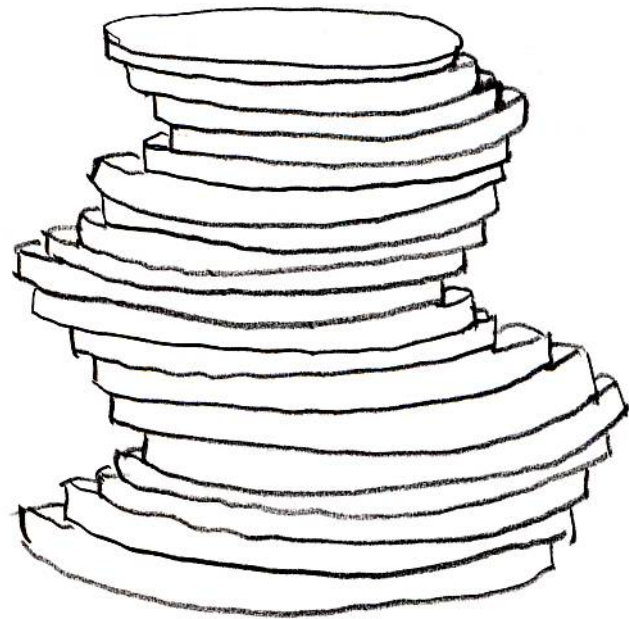
dynamic

コト

時代相、文化相の復元と推移



これまでの復元



これからの復元

既存Museum と Digital Museum

補完関係もしくは可能性

情報の深化

輪郭・framework

synchronic

static

モノ

情報の展延

borderless

diachronic

dynamic

コト

既存Museumの長所と短所

- 長所
 - 真正性 authenticity (真贋問題・・・)
 - 実体性・全体性 entity (欠損、変質・・・)
 - 経年性・歴史性 historicity (年代付け・・・)
- 短所
 - 改装、展示替えの際、以前の状態を残せない
 - Staticだから
 - モノをコトに

既存Museum と Digital Museum

- 補完関係以上の可能性の追求
 - 既存ミュージアムの限界の撤去
 - 既存ミュージアムへの新たな可能性の付与
 - 新たなミュージアムの役割・機能の創出
 - 近未来社会におけるミュージアム像の構築

Digital Museum

- 現時点での限界
 - Reality
 - Sustainability
 - Serendipity
 - Entirety, Totality
 - Self-growing
 - Missing
 -

Digital Humanities と Digital Museum

- Digital Humanities

- 人文学の研究・教育・普及・刷新にcomputingを介在させようとする領域
- 広範すぎるため、領域もしくは分野として確立することに疑問がある

- Digital Museum

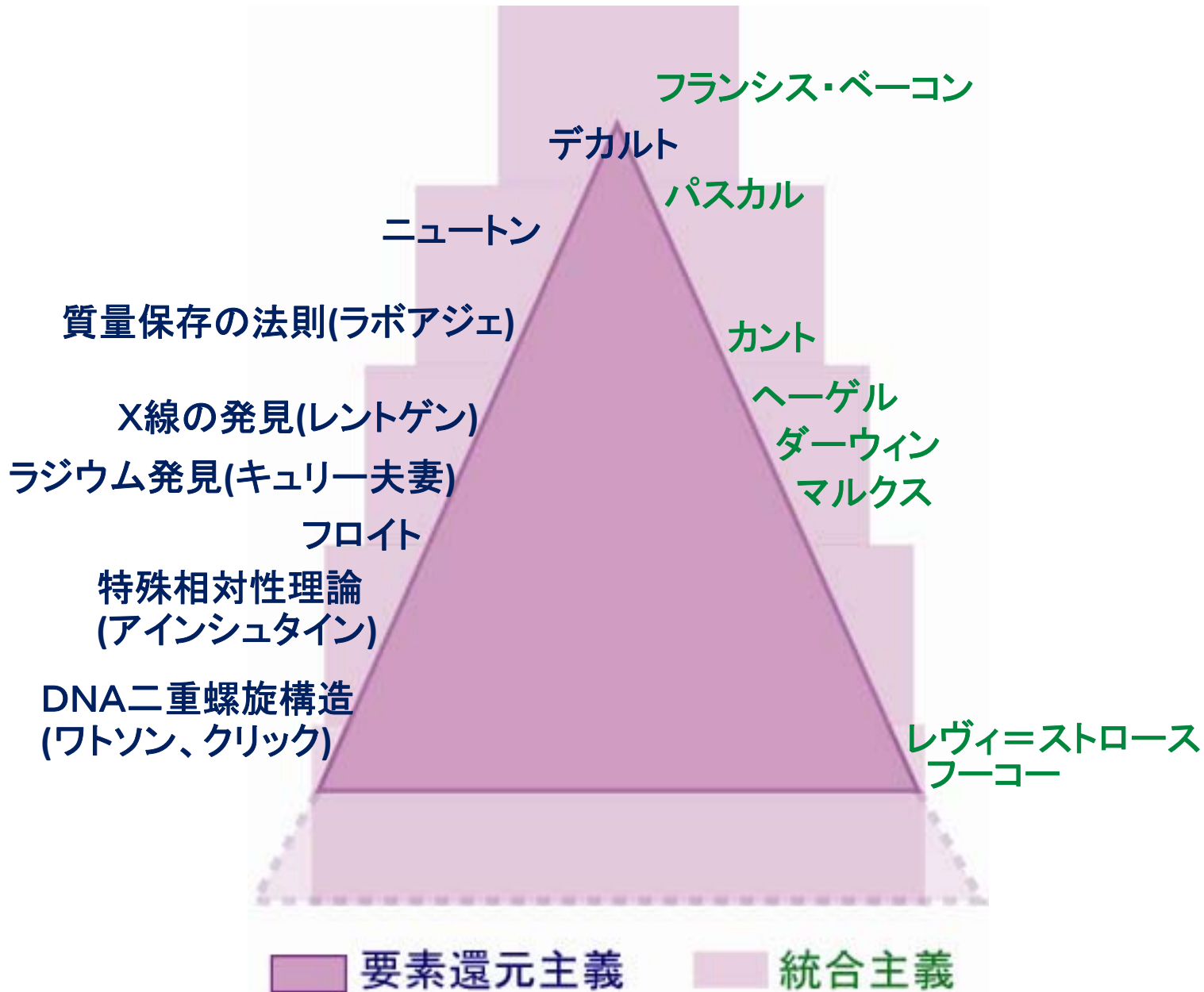
- 対象が具体的
- 既存ミュージアムが一定の指針を提示する
- 研究・教育・普及・刷新の一分野として確立する可能性が高い

還元論と全体論

- Reductionism (還元主義、要素還元主義)
 - イオニア自然学派 (Thalēs ...)
 - 古代原始論 (Dēmokritos...)
 - René Descartes
 -
- Holism (全体論、統合主義)
 - ドイツ・ロマン主義の自然哲学
 - 物理学に対する生物学 → 生氣学
 -

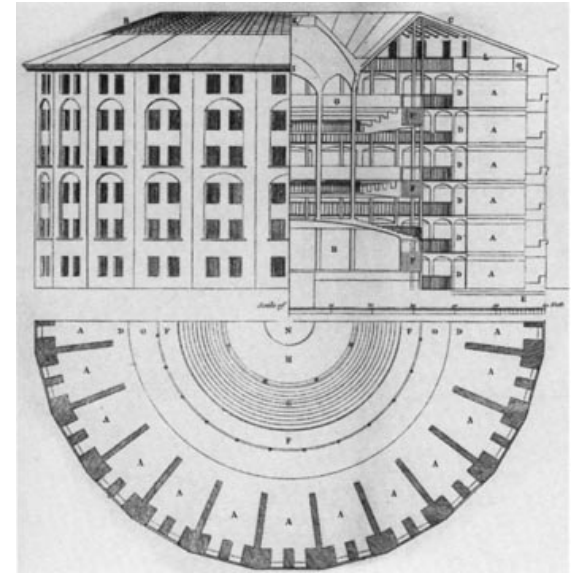
還元論と全体論

- 還元論
 - 機械論的世界像
 - 原子論的世界像
 - 遺伝子論的世界像
- ホーリズム、全体論
 - 有機体論、システム論
 - 生物の多様性
 - 文化の多様性

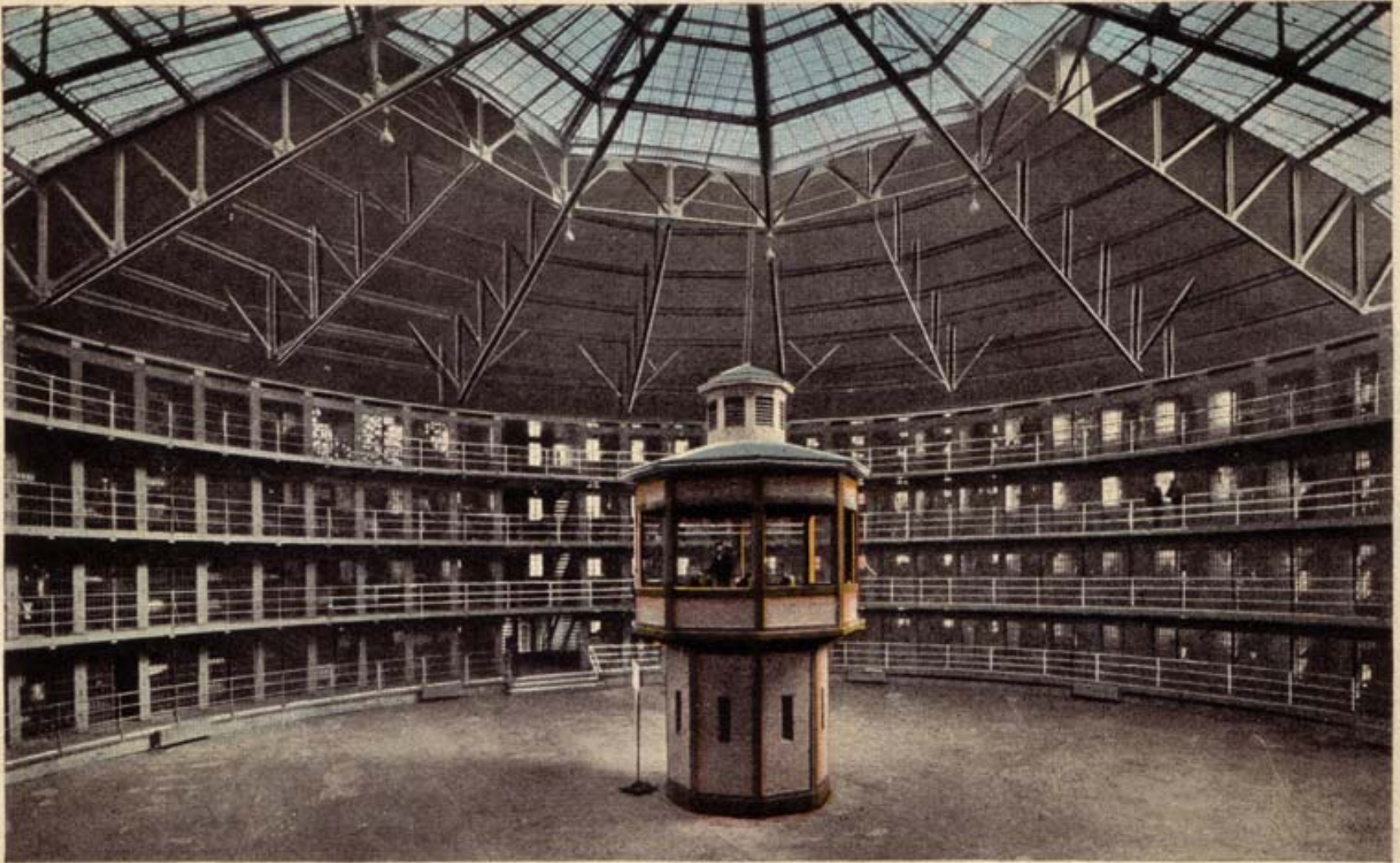


Panopticon

- 全展望監視システム
 - Jeremy Bentham
 - 功利主義的観点から
- Michel Foucault
 - *Naissance de la prison, Surveiller et punir*
 - 一方的な権力の効率的な施行



Interior View of Cell House, new Illinois State Penitentiary at Stateville, near Joliet, Ill.—23



"Interior view of cell house, new Illinois State Penitentiary at Stateville, near Joliet, Ill."

還元論と全体論 その功罪

- 還元論

- 近現代科学における圧倒的な成果
- 今後も主要な方法論
- 科学技術至上主義
- 核兵器、遺伝子組み換え、環境問題……

- 全体論

- 近現代社会での後退＝思想哲学の退潮
- 調和、融合、規律（集団と個人）……
- 本質的創造力、構想力の衰退
- 神秘主義

デジタル技術の磁場

- 範囲・フレームワークを与えることによる深化、発展、可能性の確認
- 要素還元論の全体論への接近
- 全体論である環境論、サステナビリティ論などとならぶ課題

学部・修士教育

科学・社会

epiphenomena

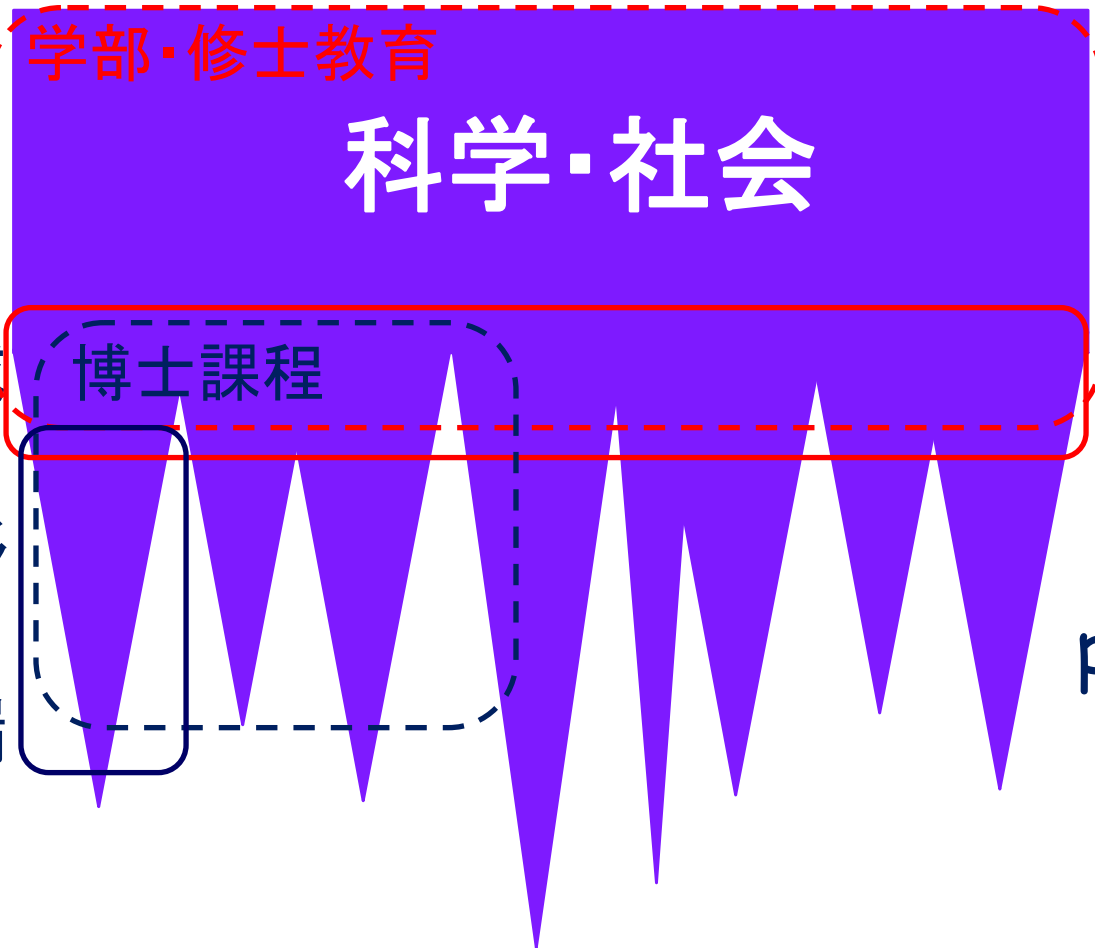
領域

博士課程

分野

先端

phenomena



英国の事例

- Taught courses (学部・修士課程)
- Research courses (PhD課程)
- 両コースの間には大きな区分がある

Research course (PhD課程)

- PhD論文においても、全体の2～3割を次の2点に割く
 - 全体議論の整理
 - 執筆者の主張の全体的位置づけの明確化
Position Paper
- 拙速に個別研究の細部に入ることが避けられる